

# 街道を歩く 美濃街道 (美濃路) (14 里 24 町 15 間)

美濃街道 (通称 美濃路)

京と江戸を結ぶ街道として東海道、中山道があったが前者は鈴鹿峠、桑名～宮の“七里の渡し”、後者は木曾路の難所があったので中山道垂井から大垣・墨俣・起・萩原・稲葉・清洲・名古屋宿を経て東海道宮宿に通じる道 (14 里 24 町 15 間) が利用された。このルートは平安、鎌倉時代に利用された鎌倉街道とも一部重なり歴史の古い道である。道筋には源平の合戦地、十六夜日記の阿仏尼の鎌倉への途次立寄りの史跡、親鸞旧跡、芭蕉ゆかりの地も残る。

江戸時代には五街道(東海道、中山道日光街道、甲州街道、奥州街道)に準じた道として幕府道中奉行の支配下に置かれ、宿駅、一里塚も設けられ脇往還道とも呼ばれ、将軍の上洛、大名の参勤交代、朝鮮通信使、琉球王使節、お茶壺道中などが往来した。関ヶ原合戦の時、徳川家康が凱旋帰途した道でもあったので「御吉例道」とも呼ばれる。

松尾芭蕉略歴

寛永 21 年 (1644) 伊賀上野で生まれる、幼名金作、通称甚四郎、別名忠右衛門。父松尾与左衛門、伊賀在住の平家の末流、身分無足人( 扶持ナシ、苗字帯刀可)。明暦 2 年(1656)父没、13 歳。藤堂藩伊賀付士大將藤堂新七郎良精の息子良忠に近習役として仕え、良忠の影響で俳諧に熱中、良忠は季吟の門人、寛文 6 年良忠没。延宝 2 年(1674)北村季吟より「埋木」伝授される。その後江戸に、俳人として名を成すが突然、日本橋小田原町→深川に。

点者生活、隠棲。天和 2 年 3 月 芭蕉号 (門人からもらった芭蕉株が生育したので)

①貞享元年(1684)「野ざらし紀行」に出発。“野ざらしを心に風のしむ身哉”大和、吉野、山城、美濃、尾張、伊賀、木曾、甲斐、貞享 2 年 4 月末江戸。その後母 (天和 3 年 6 月没) の墓参り、木因の招きで大垣に。貞享 3 年深川の草庵で “古池や蛙飛び込む水のをと” を詠む。

②「笈 (あ) の小文」の旅 貞享 4 年伊良湖に蟄居中の杜国を訪ねる。

翌 5 年伊勢で杜国に会う。吉野、高野山、和歌浦、須磨、明石を巡遊。

③「更科紀行」貞享 5 年 4 月京都、大津、尾張経て更科で月見、江戸に(9 月)

④「奥の細道」元禄 2 年(1689)門人曾良を伴って出発。粕壁、下野、睦奥、出羽、越後、越中、加賀、越前を経て大垣に(8 月下旬)5 ヶ月 600 里の旅終える。9 月 6 日伊勢に向かい神宮参拝後伊賀上野へ。年末は近江義仲寺で過す。春に伊賀上野に、4 月国分山の幻住庵に入るが風邪と持病悪化で京、近江義仲寺へ。翌元禄 4 年 10 月江戸に戻る。(芭蕉庵は人手に渡っていたので借家)。元禄 7 年 4 月「奥の細道」の清書完成。5 月故郷伊賀上野に向かう。名古屋で荷々々と交流、5 月上野着、6 月義仲寺、7 月伊賀上野、9 月各務支考に付添われて大阪に。(門人達の争いの仲介に) 9 月熱、腹痛、下痢。10 月 11 日南御堂前花屋仁右衛門の貸座敷にて没。(享年 51 歳) 「病中吟」“旅に病んで夢は枯野をかけ廻る”

0 表紙

- ①：伝馬－金山－古渡－大須－若宮大通
- ②：若宮通り－幅下－押切－枇杷島－新川－清洲
- ③：清洲 (船舩) －稲沢六角堂－稲葉－石橋
- ④：石橋 (稲沢) －萩原－起
- ⑤：起－足近－小熊
- ⑥：小熊－町屋－小野－今宿－水門川 (高橋)
- ⑦：水門川 (高橋) －久徳－綾戸－垂井追分
- 8 美濃路ウォーク記録

阿仏尼

入道大納言為家の死後、長子為氏と我が子為相らと遺産相続問題から鎌倉幕府に直訴すべく建治 3 年 (1277) 京から鎌倉への 16 日間の旅と鎌倉滞在をした十六夜日記の作者。阿仏尼は歌学に長じ「源氏物語 “を講ずるなど歌道宗家の主たる為家の伴侶として適材であった。歌道の跡継ぎを長子為氏よりも我が子為相に継がせようと活動し周囲の反感を買った。播磨の細川庄地頭職の跡継ぎ問題で鎌倉に出向いたが判決のでぬまま弘安 6 年 (1283) この世を去った。その後為相が鎌倉へ通った。正和 2 年 (1313)

勝訴となった。

十六夜日記行程

京・逢坂・守山・小野・笠縫・墨俣・一宮・熱田・八橋・矢作・赤坂・豊川・渡津・浜松・池田・見付・菊川・宇津・手越・興津・蒲原・浪の上・車返・伊豆国府・箱根・酒匂・鎌倉



許六 画

参考

桃花台中日文化センター「街道」を歩く講座テキスト

愛知県の歴史散歩上 株式会社山川出版社

岐阜県の歴史散歩上 株式会社山川出版社

美濃路 NOW 新川みのじ会 ブックショップ「マイタウン」

美濃路と竹鼻街道をゆく、続美濃路をゆく 大垣市文化財保護協会

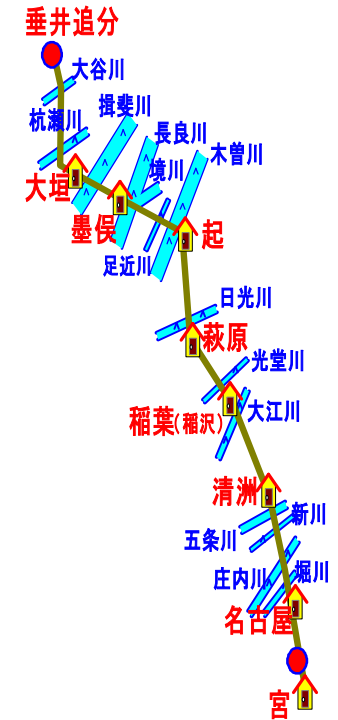
十六夜日記 夜の鶴 森本元子全注訳 講談社学術文庫

松尾芭蕉 雲英末雄他著 新潮古典文学 新潮社

稲沢の街道Ⅱ 美濃路 稲沢市教育委員会

名古屋南・北、清洲、一宮、竹鼻、岐阜西部、大垣地区国土地理院

その他市町教育委員会発行史跡冊子、観光協会発行冊子、ガイドマップなど



H16/4—H16/11

あきやま ゆたか

H17 年 9 月